外科領域における Imipenem/Cilastatin sodium (MK-0787/MK-0791) の基礎的, 臨床的検討

由 良 二 郎・品 川 長 夫・石 川 周・城 義 政 河 辺 章 夫・柴 田 純 孝・真 下 啓 二 名古屋市立大学医学部第一外科学教室

> 吉 見 治・杉 村 公 平 東海逓信病院外科

渡 辺 晋 名古屋市立緑市民病院外科

伊 藤 忠 夫 多治見市民病院外科

犬 飼 昭 夫・松 垣 啓 司 員弁厚生病院外科

田 辺 克 彦・細 野 進 臨港病院外科

> 字佐見詞津夫 刈谷総合病院外科

新しく開発された thienamycin の誘導体である imipenem/cilastatin sodium (MK-0787/MK-0791) について外科領域における基礎的, 臨床的検討を行い次の結果が得られた。

- (1) 抗菌力: Staphylococcus aureus, Escherichia coli, Klebsiella sp., Pseudomonas aeruginosa に対する MK-0787 の MIC のピークはそれぞれ 0.05, 0.2, 0.2, 0.8 µg/ml であり, S. aureus および P. aeruginosa に対しては latamoxef (LMOX), gentamicin (GM), piperacillin (PIPC) より優れていた。
- (2) 胆汁中移行: MK-0787/MK-0791 投与時の MK-0787 の胆汁移行は cefoxitin (CFX) と 比較しやや劣るが MIC よりみて充分な濃度が得られた。
- (3) 臨床使用成績:外科的感染症 38 例に使用し、著効 6 例、有効 22 例、やや有効 6 例、無効 2 例、不明 2 例であった。 自他覚的副作用は認められなかったが、 7 例に肝機能異常を中心とする臨床検査値異常が認められた。

Imipenem (MK-0787) は米国メルク社にて開発された新しい系統の抗生物質であり、Streptomyces cattleyaより得られた thienamycin の誘導体である。体内においては主として腎にて dehydropeptidase-I により不活化されるが、この不活化酵素に対する阻害剤である cilastatin sodium (MK-0791) も同時に開発された。MK-0787 と MK-0791 の 1:1 の配合剤は動物実験においてもその有用性が証明された。

今回, われわれは, MK-0787 と MK-0791 の 1:1 の配合剤(以下本剤と略す)の提供をうけ, 外科領域に おける基礎的, 臨床的検討を行い, 若干の結果を得たので報告する。

## I. 方 法

1. 抗菌力: 外科病巣分離の S. aureus 18 株, E. coli 3 株, Kleb siella sp. 23 株および P. aeruginosa 13 株について MK-0787, LMOX, GM, PIPC の抗菌力を測定した。測定方法は Müller-Hinton broth を用いた broth microdilution method であり、最終接種菌量は 10<sup>5</sup> 個/ml である。抗菌力は最小発育阻止濃度 (MIC)で示した。

2. 胆汁中移行:胆石症術後の総胆管Tチューブドレ ナージの3症例および膵頭部十二指腸切除術後の症例で 肝内胆管にチューブの挿入された1例の合計4例につい て本剤の胆汁中移行を測定した。胆石症術後の3例につ いては CFX との cross over を施行した。本剤ではそれ ぞれ 500 mg の配合剤を生理食塩液 100 ml に溶解し30 分かけて点滴で静脈内投与した。CFX は 1g を生理食 塩液 100 ml に溶解し 30 分かけて点滴で静脈内投与し た。検体の採取時間は、まず血中濃度については本剤お よび CFX ともに投与開始後 30 分(投与終了時), 1, 2, 4, 6時間である。胆汁の採取は投与開始より6時 間まで1時間ごとに全量を採取し、その一部を濃度測定 した。 検体である血液は直ちに遠心分離し、1M Morpholino-ethane sulfonate 緩衝液 (pH 6.0)/Ethyleneglycol (1:1 V/V) (MES/EG) を等量加え、また胆汁 は同様に 1 M Morpholino-propane sulfonate 緩衝液 (pH7.0)/Ethyleneglycol (1:1 V/V) (MOPS/EG) を 等量加え、測定まで -80℃ に保存した。測定方法は MK-0787 では、Bacillus subtilis ATCC 12432 を用い たペーパーディスク法であり、 用いた 培地は Müller-Hinton agar, 標準曲線作製にあたり用いた希釈液は人 血漿では 0.05 M MOPS 緩衝液 (pH 7.0), 胆汁では プールした人胆汁である。CFX の測定方法は、S. aureus MB 2786 を用いたペーパーディスク法であり、 用いた 培地は Heart Infusion agar, 標準曲線作製にあたり用 いた希釈液は人血漿では 0.15 M PBS (pH 6.0), 胆汁 ではプールした人胆汁である。MK-0791 の測定は HPLC 法であり、日本メルク萬有(株)研究所に依頼し

Fig. 1 Susceptibility distribution of S. aureus (18 strains)

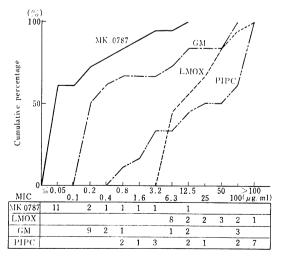


Fig. 2 Susceptibility distribution of *E. coli* (23 strains)

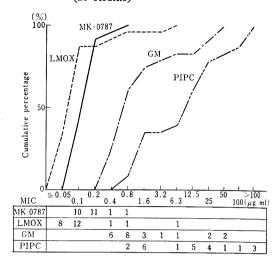
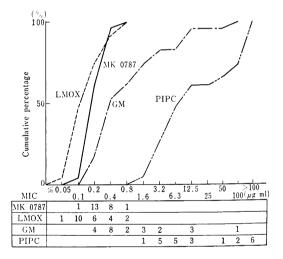


Fig. 3 Susceptibility distribution of *Klebsiella* sp. (23 strains)



た。分析機器は ウォーターズ の 液体クロマトグラフ用 600 A ポンプ, サンプルプロセッサー 710 B, システムコントローラー 720, データーモジュール M 730 および日立蛍光分光光度計 650-10 LC を用い, 分析カラムはエルマー光学社の ERC-ODS-1162 充塡ステンレスカラム, ガードカラムはバイオラッド社の BIO-SIL ODS-10 カートリッジ, 反応カラムは ワットマン社のガラスビーズ充塡ステンレスカラムを用いた。移動相としては水:リン酸 (85%):イソプロピルアルコール (91.8:0.2:8.0, V/V%) を用いた。

3. 臨床使用:外科領域における代表的な感染症を中

Fig. 4 Susceptibility distribution of P. aeruginosa (13 strains)

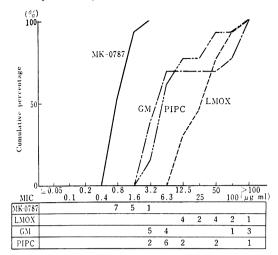
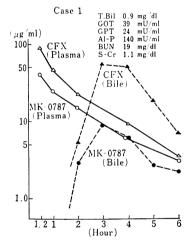


Fig. 5 Plasma and bile levels of MK-0787 and CFX



心に 38 症例に本剤を使用し、その安全性、有用性について検討した。

#### II. 成 績

1. 抗菌力: S. aureus 18 株に対する MK-0787 の MIC は、ピークが  $0.05~\mu g/ml$  かまたはそれ以下という良好な抗菌力を示した。続いて GM の抗菌力が良好であったが、LMOX では MIC のピークは  $6.3~\mu g/ml$  であり PIPC では、18 株中 9 株が MIC  $100~\mu g/ml$  かまたはそれ以上を示した(Fig. 1)。

E.coli 23 株については MK-0787 の MIC のピークは  $0.2\,\mu g/ml$  であり、すべての株は  $0.8\,\mu g/ml$  以下であった。LMOX の MIC のピークも  $0.1\,\mu g/ml$  であり良好な抗菌力を示した。しかし、GM では MIC のピークは  $0.8\,\mu g/ml$  であり、PIPC では 23 株中 9 株が MIC

25 μg/ml かまたはそれ以上の値であり、MK-0787 より 劣った成績であった (Fig. 2)。

Klebsiella sp. 23 株については、MK-0787 の MIC のピークは  $0.2\,\mu g/ml$  であり、LMOX のそれは  $0.1\,\mu g/ml$  であった。両剤とも全ての株は MIC  $0.8\,\mu g/ml$  かまたはそれ以下という良好な 抗菌 力を示した。 GM では MIC のピークは  $0.4\,\mu g/ml$  であり、PIPC では MIC が  $50\,\mu g/ml$  かまたはそれ以上の株が 23 株中 9 株認められた (Fig. 3)。

P. aeruginosa 13 株については MK-0787 の MIC のピークは  $0.8 \mu g/ml$  であり、GM では  $3.2 \mu g/ml$  であった。MK-0787 は GM、LMOX、PIPC より優れた抗菌力を示した(Fig. 4)。

### 2. 胆汁中移行

症例 1 73 歳, 男性, 体重  $40\,\mathrm{kg}$ , 胆石症術後 $\mathrm{T}$ チューブドレナージの症例である。濃度測定時の肝機能は GOT  $39\,\mathrm{mU/ml}$ , GPT  $24\,\mathrm{mU/ml}$ , Al-P  $140\,\mathrm{mU/ml}$  であった。本剤は  $30\,\mathrm{分かけ}$  て点滴静注されたが, 投与終了時には, MK-0787 の血中濃度は  $39.0\,\mu\mathrm{g/ml}$  を示した。 MK-0787 の胆汁中濃度のピークは投与開始後  $2\sim3$  時間にあり  $9.0\,\mu\mathrm{g/ml}$  の濃度を示した。 CFX は  $1\mathrm{g}$  投与されたが, その胆汁中濃度のピーク値は  $55.2\,\mu\mathrm{g/ml}$  であり本剤より良好な珍行を示した (Fig. 5)。

症例 2 50 歳,男性,体重 54 kg,胆石症術後の総胆管 T チューブドレナージの症例である。濃度測定時の肝機能は GOT 58 mU/ml,GPT 79 mU/ml,Al-P 129 mU/ml であった。 MK-0787 の胆汁中濃度のピークは投与開始後  $0\sim1$  時間にあり  $4.3\,\mu g/ml$  を示している。 CFX の胆汁中濃度のピークも同様に投与開始後  $0\sim1$  時

Fig. 6 Plasma and bile levels of MK-0787 and CFX

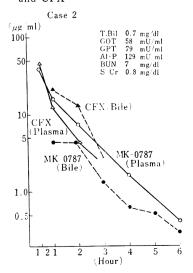


Fig. 7 Plasma and bile levels of MK-0787 and CFX

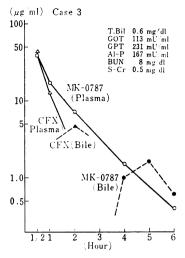
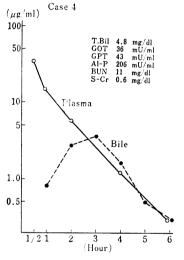


Fig. 8 Plasma and bile levels of MK-0787



間であったが  $20.9\,\mu g/ml$  の高い濃度であった(Fig. 6)。 症例 3 59 歳,女性,体重  $52\,k$ g,同じく胆石症術後の総胆管 T チューブドレナージの症例である。濃度測定時の肝機能は GOT  $113\,m$ U/ml,GPT  $231\,m$ U/ml,Al-P  $167\,m$ U/ml であり,MK-0787 の血中濃度は点滴終了時で  $39.3\,\mu g/ml$  を示した。MK-0787 の胆汁中のピークは CFX より遅れており投与開始後  $4\sim5$ 時間で  $1.6\,\mu g/ml$  であり,CFX のピーク値の約 1/3 であった。 肝機能障害もあり MK-0787 および CFX ともに胆汁中への移行は不良であった(Fig. 7)。

症例 4 34 歳, 男性, 体重 48.5 kg, 膵頭部腫瘍にて膵頭十二指腸切除術後の症例である。肝内胆管に挿入されたチューブより亜汁は採取された。濃度測定時の肝

Table 1 Plasma and bile levels of MK-0787/MK-0791

Playma lavala of MK-0797/MK-0701 ( ...../--1)

Piasma lev	els of MK-0	)/8// IVI.	K-0/91	(μg/m	1)	
Case No.	Hour	1/2	1	2	4	6
1	MK-0787	39.0	24.1	14.8	6.1	3.0
1	MK-0791	47.3	16.3	5.8	1.7	0.3
2	MK-0787	38.4	15.7	7.3	1.6	0.4
	MK-0791	51.7	29.3	17.5	7.4	3.9
3	MK-0787	39.3	16.8	7.1	1.5	0.4
	MK-0791	39.5	13.4	5.7	1.0	N.D.
4	MK-0787	34.5	14.7	5.8	1.2	0.3
-7	MK-0791	48.6	15.6	5.4	1.4	N.D.

Bile levels of MK-0787 (µg/ml)

Hour Case No.	0 - 1	1 - 2	2 - 3	3 - 4	4 - 5	5 - 6
1	N.D.	2.9	9.0	6.1	2.7	2.2
2	4.3	4.2	1.3	0.6	0.5	0.3
3	N.D.	N.D.	N.D.	1.0	1.6	0.6
4	0.8	2.7	3.5	1.6	0.5	0.3

N.D.: not detected

Table 2 Plasma and bile levels of cefoxitin

Plasma levels of cefoxitin (µg/ml)

Hour Case No.	1/2	1	2	4	6
1	88.0	45.7	22.1	9.3	3.4
2	45.7	12.2	4.3	N.D.	N.D.
3	41.6	12.9	N.D.	N.D.	N.D.

## Bile levels of cefoxitin (µg/ml)

Hour Case No.	0 - 1	1 - 2	2 - 3	3 - 4	4 - 5	5 - 6
1	N.D.	5.3	55.2	50.5	18.3	6.9
2	20.9	13.1	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
3	N.D.	4.6	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.

N.D.: not detected

機能は GOT 36 mU/ml, GPT 43 mU/ml, Al-P 206 mU/ml であった。 MK-0787 の血中濃度は点滴終了時で 34.5  $\mu$ g/ml であり,胆汁中濃度のヒークは点滴開始後 2~3 時間であり 3.5  $\mu$ g/ml の値を示した (Fig.8)。

本剤と CFX を cross over した成績をみると, まず本剤の投与量は MK-0787 として 500 mg であり, CFX は 1g という相違はあるが, 胆汁移行は MK-0787 で

Table 3-1 Clinical results of MK-0787/MK-0791

		Remarks	GPT 1→15→39		Eosino 0→6→4						
	Side	effect	<u> </u>	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	( <u> </u>	(-)	(-)
	Clinical	effect	Good	Good	Good	Good	Good	Excellent	Good	Good	Poor
		Total dose (g)	5.5/2.5	10/10	1.75/1.75	5/5	8/8	10/10	10.5/10.5	7.5 7.5	5.5 5.5
	Treatment	Duration (days)	9	10	4	10	8	10	2	ဖ	II.
/MK-0791	Trea	Daily dose (mg×times)	500/500×2	500/500×2	250/250×2	250/250×2	500/500×2	$500/500 \times 2$	500/500×3	500/500×3	250/250×2
AK-0787		Route	D.I.	D.I.	D.I.	D.I.	D.I.	D.I.	D.I.	D.I.	D.I.
Clinical results of MK-0787/MK-0791	MIC	(lm/gµ)	0.2			0.1 0.1 0.39	0.39	0.78			
Table 3-1 Clinical	Organism	(Before→After)	E. coli	E. faecalis P. paucimobilis	Unknown	E. coli B. fragilis B. thetaiotaomicron $\downarrow$ $(-)$	Streptococcus E. coli	P. aeruginosa E. coli $\alpha$ -Streptococcus (-)	Candida ↓ S. epidermidis	$(-) \downarrow \\ \downarrow \\ S. cpidermidis$	C. freundii P. mirabilis E. faecalis C. freundii E. faecalis S. epidermidis
T	Hnderlying	disease	I	1	1	I	1	1		1	Diaphrasma- tic hernia
		Diagnosis	Acute peritonitis (appendicitis)	Acute peritonitis (appendicitis)	Acute peritonitis (appendicitis)	Acute peritonitis (appendicitis)	Acute peritonitis (appendicitis)	Acute peritonitis (appendicitis)	Acute peritonitis (duodenal ulcer)	Acute peritonitis (duodenal ulcer)	Postoperative peritonitis
		Sex	M	ίτι	দ	ĮT.	M	M	M	M	स
	Agr	(v. o)	18	51	34	99	40	39	27	23	28.
	ose)	No.	1. 11.11.	2. H.I.	3. M.K.	4. A.M.	5. G.A.	6. Y.O.	7. Y.H.	8. Y.S.	9. A.M.

Table 3-2 Clinical results of MK-0787/MK-0791

		Remarks			GOT 31→51→87 GPT 34→58→127 Eosino 5→11→8	Drainage (2nd day)		GOT 15→256→80 GPT 14→207→99 Eosino 2→10→18	GOT 17→366→56 GPT 19→868→172 A1-P 275→852→515 r-GTP 81→209→215
	0:30	side effect	(-)	(-)			(-)		(-)
	l'aciai)	effect	Fair	Fair	Good	Good	Good	Excellent	Good
		Total dose	21/21	2/2	2/2	8.25/8.25	15/15	8.5/8.5	5.5/5.5
	Treatment	Duration (days)	14	10	2	e 7	10	4 W	ro o
MIN 0131	Trea	Daily dose (mg×times)	500/500×3	250/250×2	500/500×2	250/250×2 ↓ 500/500×2	500/500×3	500/500×3 ↓ 500/500×2	500/500 × 2
10.70 VI		Route	D.I.	D.I.	D.I.	D.I.	D.I.	D.I.	D.I.
estilles of Iv	(1)	MIC (µg/ml)				3.13 0.2 0.2			<u>.</u>
Table 3-2 Cililical results of Min-0/6//Min-0/91		Organism (Before→After)	Unknown	Unknown	S. intermedius  J. aureus	S. sylosus E. coli K. pneumoniae Fungi  (-)	E. cloacae ↓ ( − )	Unknown	P. aeruginosa Anaerobe ↓ P. aeruginosa
1		Underlymg disease	Gastric cancer	Appendicitis	Appendicitis	Cholecysto- lithiasis	Gastric	Choledocho- lithiasis	Appendicitis
		Diagnosis	Postoperative peritonitis	Postoperative peritonitis	Intraabdominal abscess	Intraabdominal abscess	Intraabdominal abscess	Subphrenic abscess	Intraabdominal abscess
		Sex	×	<u>:</u>	Z	(1,	×	(I)	M
		Age (y o)	50	10	155	79	69	39	35
		No.	10. S.A.	11. J.M.	12. V.M.	13. A.B.	14. E.Y.	15. N.S.	16. A.O.

Table 3.3 Clinical results of MIK-0787/MK-0791

1										1	ı											1		1			1 1
	Remarks		Cholecys- tectomy (2nd day)																								
	Side effect		(-)		( <del>-</del>		(-)			(-)	1				<u>(</u> -)				(-)			(-)			$\widehat{}$		(-)
	Clinical effect		Good		Poor		Excellent			Excellent	Good				Good				Good			Excellent			Good		Fair
	Total dose	( H )	3.5,3.5		,x x		7.5.7.5			5.5 5.5	6.5.6.5				5 5				10			+ +			6.5/6.5		14, 14
Treatment	<u> </u>	(days)	7		∞		∞			9					က		4		10			-	,	-			14
1.0	Daily dose	(mg×times)	$250/250 \times 2$		$500/500 \times 2$		500/500×2			500 500×2	500/500×2				$500/500\times2$	<b>→</b>	500 500 / 1		$250\ 250\times2$			500 500×2	→ (i)	250 250×2	$500 500 \times 2$		$500'500 \times 2$
	Route		D.I.		D.I.		] <u>-</u>			2.1	) i								D.I.			D.I.			D.I.		D.I.
	MIC ("g ml)		3.13 0.013		>100	>100	5 0				0.1				0.1				0.1	·! •	1.56	0.1			0.05		
	Organism (Before→After)		E. faccium S. sciuri II ↓	(-)	X. maltophilia	↓ X. maltəphilia	E. cloacae	>	F. cloudie	Unknown	K. pnermoniae	E. acrogenes	→	S. Inque)aerens	K. pueranoniae	<b>→</b>	S. marcescens		E. coli	N. O.you	М. тогданії	E. coli	<b>→</b> (	(-)	F. micleation	<b>→</b> ( )	Unknown .
	Underlying disease		Cholecystoli- thiasis		Gallbladder	cancer	Common	bile duct	Canter	Choledocho- lithiasis	Gastric	cancer			Gastric	cancer	Rectal	cancer	Common	cancer		1 2					Anal tumor
	Diagnosis		Acute cholecystitis		Acute cholangitis		Acute cholangitis			Acute cholangitis	Biliary tract infection				Biliary tract infection				Liver abscess			Intraabdominal abscess			Intraabdominal abscess		Coccygeal abscess
	Sex		<u>-</u>		ĺΤι		'n			M	Z				Z				Σ			Σ			Ľ		Z
	Age (y/o)		33		65		70			57	92				7.9				Z.			38			89		7.9
	Care No.		17. I.H.		18. A.H.		19. Y.M.			20. T.N.	21. A.A.				22. K.F.				23. T.K.			24. S.S.			25. F.S.		26. K.M.

Table 3 4 Clinical results of MK-0787/MK-0791

	Remarks		Steroid		!			
	Side	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	( - )
	Clinical	Good	Unknown	Good	Fair	Fair	Good	Excellent
	Total dose	10/10	13/13	5/5	11/11	10/10	6.5/6.5	14.5/14.5
Treatment	Duration (days)	10	13	10	11	10	2	8 1 8.
Trex	Daily dose (mg×times)	500/500×2	500/500×2	250/250×2	500/500×2	500/500×2	500/500×2	500/500×3
	Route	D.I.	D.I.	D.I.	D.I.	D.I.	D.I.	D.I.
	MIC (µg/ml)				0.2	0.2 0.78 0.05 0.2	3.13 0.1 0.39 3.13	
	Organism (Before→After)	GNB	P. mirabilis     L. mirabilis  Enterococcus	E. coli B. fragilis E. faecalis  University of the properties of t	E. coli M. morganii J M. morganii	E. coli ↓ B. fragilis S. awens E. coli	Streptococcus S. mitis E. agglomerans  U. Streptococcus S. epidermidis	P. statzori A. anibalus
	Underlying diaease	Diabetes mellitus	Liposarcoma	1	Rectal	Hypertension E. coli B. frag S. amv. E. coli	Pneumotho- rax	Duodenal ulcer Lung tuber: culosis
	Diagnosis	Perineal abscess	Inguinal abscess	Periproctal abscess	Pelvic abscess	Necrotizing fasciitis	Postoperative pneumonia Pneumothorax	Postoperative pneumonia Duodenal ulcer Lung tubs
	Sex	×	Z	X	្រ	Z	M	Σ
	Age (y/o)	45	53	69	73	<b></b>	74	51
	Case No.	27. F.T.	28. Y.U.	29. K.A.	30. A.K.	31. S.K.	32. S.A.	33. Y.Y.

-0791
Ž
.0787/
¥
ot
results
Clinical
3-5
ľable

		Remarks	Eosino 4→9	Drainage (before admini- stration)			GOT 28→75→45 GPT 28→56→43 WBC 5700→ 3100→4100 Conconnitant with other antibiotics
	Side	effect	ĵ.	( – )	( – )	( <del>-</del> )	(-)
ļ	Clinical	effect	Good	Good	Good	Fair	Unknown
		Total dose	3.75/3.75	10/10	6 6	24.24	10.5/10.5
	Treatment	Duration (days)	80	10	o.	16	41
/MK-0791	Trea	Daily dose (mg×times)	250/250×2	500/500×2	500/500 × 2	500 500×3	250/250×3
4K · 0787		Route	D.I.	D.I.	D.I.	D.I.	DI.
Clinical results of MK-0787/MK-0791	SIM	(mg/ml)		0.2	0.78 0.1 6.25 0.2 0.2 1.56 >100 0.78	0.1	
Table 3-5 Clinical r	Oroginia	(Before→After)	Unknown	K. pneumoniae ↓ K. pneumoniae	S. xylous K. pneumoniae P. aeruginosa A. avitratus Y.L.O.  K. pneumomiae P. aeruginosa X. maltophilia A. xylosoxidans	S. liquefaciens   C. freudii  P. aeruginosa	Р. серасіа
Ţ	I Indontring	disease	Cholecysto- lithiasis	Lung metastasis (colon cancer)	Esophageal	Esophageal cancer	VSD. AR. PDA
		Diagnosis	Postoperative pneumonia	Pyothorax	Mediastinitis	Mediastinitis	Infectious endocarditis
		Sex	M	ഥ	M	Σ	M
	V 220	(y/o)	74	82	20	20	=
	000)	No.	34. S.I.	35. H.S.	36. T.M.	37. T.M.	38. H.M.

Table 4 Laboratory findings before and after MK-0787/MK-0791 administration (\*K.A.U.)

$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	BUN (mg/dl)  11.6-10.4  15.9-8.3  14.3-10.4  15.6-14.8  -15.5  10.5-17.7  14.6-17.5  13.7-14.2  7.9-9.9  19.3-14.7
2     308-328     10,700-3,700     12.2-10.7     35 -31     12- 14     9- 20     27- 50       3     408-409     17.900-6,000     12.8-12.9     39 -37     14- 16     19- 17     32- 30       4     418-379     10.700-7,200     12.9-11.7     -     8- 26     9- 21     189- 163       5     -400     12.400-7,100     -13.6     -39     - 18     - 23     - 90       6     524-486     20.900-5,300     16.0-14.7     48.2-43.7     15- 14     14- 9     *7.8- 6.9       7     495-468     6.200-5,600     14.6-14.2     42.9-40.9     10- 23     14- 14     *5.3- 5.2       8     361-470     18.000-17.400     15.1-16.1     45-46.2     7- 8     8- 15     *6.6- 6.4       9     370-     9.500-     11.3-     36-     36- 14     45- 7     200- 130       10     372-395     14.000-9.200     12.2-11.9     34-35     16-277     20-315     73- 184	15.9-8.3 14.3-10.4 15.6-14.8 -15.5 10.5-17.7 14.6-17.5 13.7-14.2 7.9-9.9 19.3-14.7
3     408-409     17.900-6,000     12.8-12.9     39 -37     14- 16     19- 17     32- 30       4     418-379     10.700-7,200     12.9-11.7     -     8- 26     9- 21     189- 163       5     -400     12.400-7,100     -13.6     -39     - 18     - 23     - 90       6     524-486     20.900-5,300     16.0-14.7     48.2-43.7     15- 14     14- 9     *7.8- 6.9       7     495-468     6.200-5,600     14.6-14.2     42.9-40.9     10- 23     14- 14     *5.3- 5.2       8     361-470     18.000-17.400     15.1-16.1     45-46.2     7- 8     8- 15     *6.6- 6.4       9     370-     9.500-     11.3-     36-     36- 14     45- 7     200- 130       10     372-395     14.000- 9.200     12.2-11.9     34-35     16-277     20-315     73- 184	14.3-10.4 15.6-14.8 -15.5 10.5-17.7 14.6-17.5 13.7-14.2 7.9-9.9 19.3-14.7
4       418-379       10.700-7.200       12.9-11.7       -       8-26       9-21       189-163         5       -400       12.400-7.100       -13.6       -39       - 18       - 23       - 90         6       524-486       20.900-5,300       16.0-14.7       48.2-43.7       15-14       14-9       *7.8-6.9         7       495-468       6.200-5,600       14.6-14.2       42.9-40.9       10-23       14-14       *5.3-5.2         8       361-470       18.000-17.400       15.1-16.1       45-46.2       7-8       8-15       *6.6-6.4         9       370-       9.500-       11.3-36-36-36-14       36-14       45-7       200-130         10       372-395       14.000-9.200       12.2-11.9       34-35       16-277       20-315       73-184	15.6-14.8 -15.5 10.5-17.7 14.6-17.5 13.7-14.2 7.9-9.9 19.3-14.7
5         -400         12.400-7.100         -13.6         -39         - 18         - 23         - 90           6         524-486         20.900-5,300         16.0-14.7         48.2-43.7         15-14         14-9         *7.8-6.9           7         495-468         6.200-5,600         14.6-14.2         42.9-40.9         10-23         14-14         *5.3-5.2           8         361-470         18.000-17.400         15.1-16.1         45-46.2         7-8         8-15         *6.6-6.4           9         370-         9.500-         11.3-36         36-14         45-7         200-130           10         372-395         14.000-9.200         12.2-11.9         34-35         16-277         20-315         73-184	-15.5 10.5-17.7 14.6-17.5 13.7-14.2 7.9-9.9 19.3-14.7
6     524-486     20.900-5,300     16.0-14.7     48.2-43.7     15-14     14-9     *7.8-6.9       7     495-468     6.200-5,600     14.6-14.2     42.9-40.9     10-23     14-14     *5.3-5.2       8     361-470     18.000-17.400     15.1-16.1     45-46.2     7-8     8-15     *6.6-6.4       9     370-     9.500-     11.3-36-36-14     36-14     45-7     200-130       10     372-395     14.000-9.200     12.2-11.9     34-35     16-277     20-315     73-184	10.5-17.7 14.6-17.5 13.7-14.2 7.9-9.9 19.3-14.7
7     495-468     6.200-5.600     14.6-14.2     42.9-40.9     10-23     14-14     *5.3-5.2       8     361-470     18.000-17.400     15.1-16.1     45-46.2     7-8     8-15     *6.6-6.4       9     370-     9.500-     11.3-36-36-14     36-14     45-7     200-130       10     372-395     14.000-9.200     12.2-11.9     34-35     16-277     20-315     73-184	14.6-17.5 13.7-14.2 7.9- 9.9 19.3-14.7
8     361-470     18.000-17.400     15.1-16.1     45 -46.2     7-8     8-15     *6.6-6.4       9     370-     9.500-     11.3-     36-36-14     45-7     200-130       10     372-395     14.000-9.200     12.2-11.9     34-35     16-277     20-315     73-184	13.7-14.2 7.9- 9.9 19.3-14.7
9     370-     9.590-     11.3-     36-     36- 14     45- 7     200- 130       10     372-395     14.000- 9.200     12.2-11.9     34-35     16-277     20-315     73- 184	7.9- 9.9 19.3-14.7
10     372-395     14.000-9.200     12.2-11.9     34 -35     16-277     20-315     73-184	19.3-14.7
11     395-396     16.700-6.000     11.7-11.8     35-35     16-20     9-10     79-81	14 4 10 5
	14.4-10.5
12   462-434   12.800 - 6.000   14.9-14.0   43.5-40.6   31-87   34-127   102-89	11 - 8
13 360-322 8.300-8.100 10.8-9.6 31.9-28.3 142-84 233-101 231- 145	8 - 7
14 358-377 16.100-7,500 10.7-10.9 31.5-32.3 43-30 97-39 237-143	14 -14
15 436-456 9.000-10.100 12.2-12.3 37 -38 15-80 14-99 48- 62	9.6- 6.6
16     496—     16.900—7.500     16.3—     46.6—     17—366     19—868     275—852	- 8.8
17   378-398   8.500-5.800   9.3-10.0   28.5-30.0   15-17   10-24   50-48	13 - 9
18 374-425 11.900-19.700 11.2-13.0 39.1-39.8 36-37 21-14 *21.4-23.3	8.2-11.1
19 354-349 7.700-6.500 10.9-10.8 32.0-30.9 55-59 43-38 490-1,209	6 - 6
20 421-363 17.000-4.000 13.7-11.7 40.3-34.4 330-44 322-85 501-318	16 -15
21 272-347 10.500-15.200 8.3-10.5 -31.3 27-39 10-13 1,603-1,775	-12.2
22 239-301 15.200-5.900 8.0-10.0 24.3-29.9 23-15 19-7 506-288	-
23 323-478 6.300-7.400 11.1-15.0 32.6-43.5 78-70 121-91 1,485-880	19 -10
24     446-439     9.800-5.400     -14.8     45.3-43.3     18-34     12-39     141-129	13.2-11.1
25 333-327 11.100-4,100 10.4-10.4 31.5-30.9 7-20 1-9 175-149	14.9-14.7
26 362-317 17.600-7.800 10.6-9.6 34 -30 6-29 11-20 52-46	28.8-13.5
27     470-454     12.400-7,500     14.7-13.8     50 -45     8-18     - 15     183- 162	17.5-18.5
28 368-373 23.100-12.900 11.7-11.3 33.7-34.1 21-28 16-70 134-153	13 - 8
29 428-454 11.900-10.100 12.5-13.2 38.6-41.0 20-19 18-12 *7.9-9.6	13.8-14.9
30 270-262 4.000-10.700 10.0- 9.8 27.5-26.8 93- 33 71- 27 95- 108	6 - 9
31 386-310 17.600-8.300 11.9-9.6 36 -30 33-30 8-9 *8.6-7.7	21.0-20.4
32 281-309 10.800-6.700 10.2-11.4 28.7-31.8 62-270 27-310 67- 195	22 - 9
33 377-376 14.600-4.300 11.3-11.5 33.7-33.9 32-29 8-39 76-89	20 -14
34     389-410     5.300-6.100     12.9-13.2     37.8-39.4     49-24     33-8     121-102	12 -16
35 442-422 17.600-6.100 11.0-11.4 34.6-34.8 22-22 2-3 101-127	12 - 6
36 361-358 26.500-11,000 11.4-11.7 32.5-33.5 24-48 47-40 215-283	22 -13
37 358-336 10.000-10.500 11.3-11.3 32.5-32.0 37-45 45-31 168-166	24 -14
38 424-433 5.700-4.100 10.9-11.7 31.4-34.3 28-45 28-43 249-175	18 -16

ピーク値が  $1.6\sim 9.0 \mu g/ml$ , CFX で  $4.6\sim 55.2 \mu g/ml$  の値を示しており、 MK-0787 は CFX の約  $1/3\sim 1/6$  の値を示していた。また、1/1 機能異常の存在は本剤においてもその胆汁移行をさまたげる傾向にあった (Table 1,2)。

MK-0791 の血中濃度は MK-0787 のそれよりやや高値を示すが、ほぼ同様な血中濃度の推移を示していた。

## 3. 臨床使用成績

外科的感染症 38 例に本剤を使用しその安全性、有効性について検討した。対象疾患は腹膜炎(術後腹膜炎の3例を含む)11 例,術後腹腔内膿瘍 5 例,肝・胆道感染症7 例,深部膿瘍7 例,術後肺炎 3 例,胸腔内感染 3 例 および壊死性筋膜炎と感染性心内膜炎のそれぞれ 1 例であった。年齢は 10 歳から 84 歳(平均 50.8 歳)で男性 25 例,女性 13 例であった。本剤の投与方法は全例点滴静注であり, 1 日投与量は MK-0787 として 500 mg×2 回が 18 例と最も多く,続いて 250 mg×2 回の8 例,500 mg×3 回の 5 例,250 mg×3 回の 1 例と 1 日投与量の変更された 6 例であった。投与期間は 4 日から16 日(平均 9.1 日)であり,総投与量は MK-0787 として 1.75g から 24 g(平均 8.6 g)であった。

分離菌として合計 52 株が分離されているが,このうち嫌気性菌は6株,好気性グラム陽性球菌(GPC)は11株,好気性グラム陽性桿菌(GNB)は35 株であった。好気性 GNB のうちでは E. coliが10 株と最も多く,続いて Klebsiella sp. の6株, Pseudomonas sp. と Enterobacter sp. のそれぞれ4株, P. aeruginosa および Proteus sp. のそれぞれ3株となっており,いわゆる弱毒性 GNB が多く分離されていることが特徴の1つとしてあげられる。

これらの症例について教室の臨床効果判定基準に従って臨床効果について検討してみた。効果判定基準は、著効とは投与3日目までに主要症状のほとんどが消失ないし軽快したもの、有効とは投与5日目までに主要症状の過半数が消失ないし軽快したもの、やや有効とは投与7日目までに何らかの改善がみられたもの、無効とは上記以外のもので主に7日目以降においても症状の改善がみられないかもしくは悪化したものとした。各症例の臨床効果は Table 3 に示したが、疾患別に有効率をみると、腹膜炎では 8/11、72.7%、術後腹腔内膿瘍では 5/5、肝・胆道系感染症では 6/7、深部膿瘍では 4/6、術後肺炎では 3/3、胸腔内感染では 2/3、その他では 0/1 であり、全体として著効 6 例、有効 22 例、やや有効 6 例、無効 2 例、不明 2 例であり、有効以上の有効率は 77.8%であった。

延べの分離菌別臨床効果をみると、嫌気性菌では 6/6、

好気性 GPC では 10/11, 90.9% と良好な成績を示した。 好気性 GNB では *E. coli* で 8/10, *Klebsiella* sp. で 6/6, *Pseudomonas* sp. で 2/3, *Enterobacter* sp. で 4/4, *P. aeruginosa* で 3/3, *Proteus* sp. で 0/2 であり, 全体として好気性 GNB では 26/33, 78.8% の有効率であった。

症例 28 はステロイド併用のため、また症例 38 は CMX、MINO、ST 合剤などとの併用のため臨床効果は良好であったが、本剤の臨床効果判定としては不明とした。症例 36 と 37 は同一患者の同一感染症である。食道癌術後の縦隔洞炎であり初回投与時は各種薬剤の投与にもかかわらず膿汁より S.xylosus, K.pneumoniae, P.aeruginosa, A.anitratus, Y.L.O. が分離されていた。本剤を使用し有効であった。投与終了後しばらく経過は良好であったが、約3か月後に再び感染症状を呈した。各種の薬剤の使用にても効果がなく、膿汁より  $Serratia\ liquefaciens\ が分離された。このため再度本剤を使用しやや有効であった症例である。$ 

副作用に関しては、本剤投与によると思われる自他覚的なものは全例に認められなかった。臨床検査値の変動は肝機能異常が症例 1, 12, 15, 16, 38 の 5 症例に、好酸球増多が症例 3, 12, 15, 34 の 4 症例に、白血球数の軽度低下(5700 $\rightarrow$ 3100 $\rightarrow$ 4100)が症例 38 の 1 症例にみられたが、これら 7 症例では本剤投与との関連性が疑われた。その他の症例(症例 10, 13, 18, 19, 23, 26, 28, 30, 32, 36, 37)において complete blood count、肝機能などの臨床検査値に異常変動を認めたが、いずれも基礎疾患、手術の影響、大量輸血後、術後合併症(吻合部出血)などによるものと考えられ本剤により発生した異常変動とは考えられなかった(Table 4)。

#### III. 考 察

新しい系統の抗生物質である MK-0787/MK-0791 について,外科領域での検討を行った。抗菌力に関しては S. aureus を初めとする GPC や E. coli を初めとする GNB に広く抗菌力を示し,嫌気性菌に対しても良好な 抗菌力を示すことが知られている $^{11}$ 。 S. aureus と P. aeruginosa についてもわれわれの成績でも  $LMOX^{21}$ ,  $GM^{21}$ ,  $PIPC^{41}$  より優れた抗菌力が認められた。GPC,  $GM^{21}$ ,  $M^{22}$ ,  $M^{23}$ ,  $M^{24}$ ,  $M^{25}$ ,

胆汁移行に関しては、本剤の主たる排泄経路が腎であることより胆汁中に 高濃度は得られない。 CFX の 1g 投与と比較して MK-0787 500 mg の投与では胆汁中濃度のピーク値は CFX の  $1/3\sim1/6$  である。 しかし MK-0787 の鋭い抗菌力を考えるならば、充分に MIC 以上の濃度は得られているものと考えられる。一方、他の

多くの抗生物質と同様に肝障害の存在は本剤の胆汁移行 を阻害するようである。MIC と胆汁移行を考慮すれば 広く胆道系の感染症に対しても適応となる薬剤と考えら れる。

外科的感染症の 38 症例に使用した結果では、まず有効率は 77.8% と良好な成績であり、安全性についても全例に自他覚的副作用を認めていない。臨床検査値について、肝機能異常、好酸球増多など7症例に認められたが、いずれも重篤なものではなかった。

感染症の重症度をみると,重症が 17 例,中等症が 21 例で軽症例はない。対象疾患に重症例が多くみられたにもかかわらず本剤の臨床効果が 77.8% であったことは高く評価される。

以上より MK-0787/MK-0791 は,外科領域において 代表となる腹膜炎,胆道感染症をはじめとし,手術後の 各種感染症に対しても従来のセフェム剤と比較し同等あ るいはそれ以上の有効性と安全性をそなえていると推察 される。

#### 対 就

- 1) 第 32 回日本化学療法学会西日本支部総会,新薬 シンポジウム II。MK-0787/MK-0791,岡山,1984
- 由良二郎,品川長夫,恵美奈実,土井孝司,石川 周,花井拓美,松垣啓司,柴田清人,伊藤忠夫: 外科領域における 6059-S の基礎的,臨床的検 討。Chemotherapy 28 (S-7):650~660, 1980
- 3) 柴田清人, 花井卓雅, 加藤剛美, 斎藤道夫, 深見 武志, 水野貴男, 比江嶋睦典, 藤井修照, 奥田泰 夫, 鶴賀信篤: Gentamicin の外科領域における 基礎的ならびに臨床的研究。chemotherapy 15: 373~377, 1967
- 4) 柴田清人,由良二郎,品川長夫,西 秀樹,鈴木 一也,鈴木芳太郎,恵美奈実,土井孝司,石川 周,高岡哲郎:外科領域における T-1220 の基礎 的,臨床的研究。Chemotherapy 25:1271~1274, 1972

# FUNDAMENTAL AND CLINICAL STUDIES OF IMIPENEM/ CILASTATIN SODIUM IN THE SURGICAL FIELD

JIRO YURA, NAGAO SHINAGAWA, SHU ISHIKAWA, YOSHIMASA TACHI,
AKIO KOBE, YOSHITAKA SHIBATA and KEIJI MASHITA
First Department of Surgery, Nagoya City University medical School

OSAMU YOSHIMI, KOHEI SUGIMURA
Department of Surgery, Tokai Teishin Hospital

Susumu Watanabe
Department of Surgery, Nagoya Municipal Midori City Hospital

TADAO ITO

Department of Surgery, Tajimi City Hospital

AKIO INUKAI, KEIJI MATSUGAKI Department of Surgery, Inabe Kosei Hospital

KATSUHIKO TANABE, SUSUMU HOSONO Department of Surgery, Rinko Hospital

SHIZUO USAMI Department of Surgery, Kariya Sogo Hospital

Fundamental and clinical studies of imipenem/cilastatin sodium (MK-0787/MK-0791) in the surgical field were performed and the following results were obtained:

1) Antibacterial activity

Peak MICs of MK-0787 against S. aureus, E. coli, Klebsiella sp. and P. aeruginosa were 0.05, 0.2, 0.2 and 0.8 µg/ml, respectively. MICs of MK-0787 against S. aureus and P. aeruginosa were lower than those of either latamoxef and gentamicin.

2) Biliary excretion

Biliary excretion of MK-0787 was lower than that of cefoxitin in 3 patients with T-tubes in their common bile ducts.

3) Clinical results

MK-0787/MK-0791 was administered to 38 patients with surgical infections, and the clinical results were excellent in 6, good in 22, fair in 6, poor in 2 and unknown in 2. No adverse reaction was demonstrated. Abnormal laboratory findings were noticed in 7 patients during the administration of the drug.